

# 見つけよう～しらべよう～おぼえよう

藤沢市立中里小学校

## 1. はじめに

藤沢市西北部に位置し、自然あふれる地域に囲まれている中里小学校は、周辺に「藤沢市少年の森」・畑・水田・川などがあり、昆虫や植物が多くみられる。春になると様々な野草が咲きはじめ、昆虫たちの絶好のすみかとなる。子どもたちの遊び場でもある「少年の森」は、わき水としぼり水が集まり、細長い水の流れができる谷戸である。

この池のあたりに<sup>※</sup>ヤマサナエが飛翔してきて、石の上で交尾をしている場面に遭遇することもある。そのような自然観察に適した素材が豊富なもとの、中学年の単元で教材化していこうと考えた。

## 2. 実践の内容

3年生「しぜんのかんさつをしよう」、4年生「季節と生き物」の単元でみられる動植物を観察し、



授業化することを試みた。単元に出てくるさまざまな動植物（ヒメオドリコソウ、ホトケノザ、ノゲシ、オオイヌノフグリ、カラスノエンドウ、タンポポ、菜の花、ベニシジミ、ヒキガエルのオタマジャクシ、大カマキリの卵など）を観察した。

今回は「見つけよう。調べよう。おぼえよう。」をテーマにして、実践を図った。

ヤマサナエの交尾 ※小口岳史氏同定

## 3. 実践の成果

季節の生き物を観察することをきっかけにし、里山の大切さと環境との関わりについての見方や考え方の学習をすることができた。

## 4. 課題

現状を維持するとともに、藤沢市少年の森、こども青少年部青少年課、地域の「少年の森の環境を守る会」と小学校との連絡、連携が必要である。

